

V 今日の課題に対応した家庭・地域・社会教育の推進

成果指標：学校支援地域本部事業ボランティア派遣者数

1 地域課題の解決に向けた市民力の活用

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容 平成 25 年度
	地域活動の活発化に向けた支援策の検討 【2 3 1 1】	情報の収集・提供、指導者の発掘・育成、両者のコーディネート方策など、地域活動の活発化に向けた支援策の検討を進めていきます。	・社会教育委員の会による「地域・学校・家庭が子どもの育ちを支える環境づくりとその役割」についての検討、提言 ・「生涯学習情報提供システム」や紙媒体の充実 ・施設・学校で活動する団体やボランティアの育成・支援、協働事業の実施

2 自然・歴史・文化・人材等の地域資源の活用

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容 平成 25 年度
	学校支援地域本部事業の推進 【2 2 3 1】	ボランティアによる学校支援活動を充実し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めていきます。	・学校における市民のボランティア活動の支援 ・地域を基盤とした学校支援体制の整備 登録ボランティア数 5 4 0 人 登録ボランティアの活動回数 1, 9 0 0 回



伊丹市学校支援ボランティア養成講座
「みんなで楽しんで学校花壇をきれいに」
(東中学校)



伊丹市学校支援地域本部事業
各学校でのボランティア活動を紹介したパネル展示
（「ことば蔵まつり」：ことば蔵）